

5月20日は「世界ミツバチの日」 花粉交配者に感謝

「花粉交配者に感謝：ミツバチ、チョウ及び他の重要な花粉媒介者への感謝を示す6つの方法」 国際連合食糧農業機関(FAO)の提言

<https://www.fao.org/fao-stories/article/en/c/1127922/>

上記FAOサイトより一部抜粋 日本語訳は、主にGoogleの機械翻訳による

『世界ミツバチの日に、花粉交配者に感謝する6つの理由と、それを示すためのヒントを紹介します。』

1.微量栄養素が豊富な食品を提供することで、食事を改善します。-すべての食用作物に、受粉が必要なわけではありません。たとえば、米、小麦、ジャガイモは、花粉交配者がなくても生き残るでしょう。しかし、果物、一部の野菜、種子、ナッツ、油など、非常に栄養価が高く微量栄養素が豊富な食品の多くは、花粉交配者なしでは、姿を消します。花粉症のない世界とは、イチゴ、リンゴ、ブルーベリー、サクランボ、アーモンド、ココア、コーヒーなど、私たちが大好きな（そして、良質の栄養豊富な）食べ物がない世界です。

ヒント：恩返し！あなたの庭で在来植物を育てることによって、彼らが好きな食べ物を、ミツバチに与えてください。植物と花粉交配者は、相互に有益で共生的な関係にあります。彼らは、生き残るために、お互いを必要とします。したがって、そのように進化してきました。在来の地元の植物は、在来のミツバチに最も適応するものです。一年の、さまざまな時期に開花する多様な在来植物のセットを植えることは、花粉交配者に、大きな違いをもたらす可能性があります。



リンゴ、コーヒー、ブルーベリーなどの世界の食用作物の75%は、花粉交配者のおかげです。左：©FAO / Richard Slaby; 右：©BrianLasenby / shutterstock.com

2.彼らは私たちに蜂蜜をくれます。 2万種近くのミツバチのうち、ミツバチは7種だけであることをご存知ですか？ セイヨウミツバチは年間160万トンの蜂蜜を生産しています！ この素晴らしい製品は、抗菌性と防腐性も備えた天然甘味料です。蜂蜜は何千年もの間、人類の文明の一部でした。古代エジプト人は、傷の治癒などの薬用目的で、蜂蜜を使用していました。彼らはまた、蜜蝋を使って死者を防腐処理し、ろうそくを作り出しました。今日、蜂蜜、蜜蝋、その他の副産物などの製品は、地方の家族に、副収入をもたらします。

ヒント：地元の農家から生の蜂蜜を購入してください。 多くの地元の小規模農家や森林コミュニティは、持続可能な養蜂の実践を維持しています。生の蜂蜜、蜜蝋、その他の蜂製品を、直接購入することでサポートできます。

3.彼らは優れた労働倫理を持っています。 - 1匹のミツバチは通常1日に約7000の花を訪れ、1キログラムの蜂蜜を生産するには、400万回の花を訪れます。個々のミツバチは、できるだけ多くの花粉を集めると同時に、多くの植物種を受粉させることによって、ハチの巣の成長と生産性をサポートするために、たゆまぬ努力をしているチームの一員です。このたゆまぬ献身は、「蜂のように忙しい」と言う、ことわざを生み出しました。

ヒント：蜂の噴水を作って、これらの忙しい体に報酬を与えましょう。 これらの小さな子供たちは、一日中騒いだ後、水を必要とします。ミツバチが溺れないように、岩や棒が入った清潔で浅い水入れを残すことは、ミツバチに休憩場所と、必要なリフレッシュを与える良い方法です。

4-それらは私達の食糧をよりよく味わうようにします。 -よく受粉された植物はより大きく、より均一で、よりおいしい果物と野菜を生産します。植物は、果物や野菜を生産するために、どれだけの努力が必要かを測定します。十分に受粉されていない場合、植物は必ずしも生産に資源を均等に投資するわけではなく、形が崩れたり、味気ない果物や野菜になります。たとえば、リンゴが変形しているということは、植物の受粉が不十分、または不均衡であることを意味している可能性があります。

ヒント：庭には農薬、殺菌剤、除草剤は避けてください。 汚染された花蜜や、汚染された植物から、ミツバチによってもたらされた花粉で、花粉交配者や巣群を殺すこととなります。あなたの庭の植物の害虫に対して、自然な解決策を見つけてみてください。



無脊椎動物の花粉交配者、特にハチや蝶の約 35%パーセント、およびコウモリなどの脊椎動物の花粉交配者の 17%近くが世界的に絶滅の危機に瀕しています。©SARMDY/shutterstock.com

5-食料生産と食料安全保障を向上させる。 -小規模で多様な農場で受粉が適切に管理された、ある研究では、収穫量は中央値で 24%も大幅に増加しました。ミツバチや、その他の花粉交配昆虫は、世界中の 20 億人の小規模農家の食糧生産を改善し、世界の人口の食糧安全保障を確保するのに役立っています。野生のミツバチのコロニーの蜂蜜収穫も、多くの開発途上国の森林に依存する人々の生活の重要な部分であり続けています。

農民へのアドバイス： 受粉を確実にするために、ミツバチのための良い生息地を作りましょう。農場の、いくつかのエリアを自然の生息地として残します。一年のさまざまな時期に開花する在来植物で、生け垣を作り、ヒマワリやコーヒーなどの魅力的な作物や、アボカドやマンゴーなどの果樹を植えます。農薬の使用を減らし、ミツバチの営巣地は、そのままにしておきます。

6-それらは生物多様性を維持します。 -受粉は、生物多様性に寄与する自然の最も重要なプロセスの1つです。それは、私たちが多種多様な植物を生産するのに助け、その多くは食用作物でもあります。世界の顕花植物の推定90%は、繁殖のために、受粉に依存しています。また、見過ごされがちですが、受粉は樹木の再生を助け、森林の生物多様性を保護するため、ミツバチと森林養蜂は、森林の生態系を維持することに役立ちます。

ヒント：ミツバチについて、もっと学び、恐怖を克服してください。これらの生き物を研究することにより、ミツバチは、一般的に危険ではないことがわかります。すべてのハチが刺すわけではありません。刺すことと、群れるのは自己防衛機制です。彼らは意図的に人間に危害を与えません。それらを尊重する方法を、よりよく理解することにより、悪い出会いを避け、これらの必要な生き物と、平和に暮らすことを学ぶことができます。そして、言葉を広めるのを手伝ってください：あなたはミツバチの擁護者になることができます！

すべての主要な世界の宗教が、ミツバチについての、神聖な通路を持っているのも不思議ではありません。私たちが知っているように、それらは今もなお、食物と生活に不可欠です。国際花粉交配者イニシアチブの2018-2030行動計画を通じて、FAO および生物多様性条約事務局は、生物多様性および生態系サービスに関する政府間プラットフォーム（IPBES）及び、その他のパートナーと協議して、野生及び、管理されたものを保護するための協調行動を世界的に促進します。花粉は、農業と健全な生態系に不可欠であると認識されている受粉サービスの、持続可能な利用を促進します。

これらの行動は、より多様で、有毒化学物質への依存度が低い農業を支援します。花粉交配者を、安全に保つのを助けることは、私たちの食糧生産、農民の収入、そしてより広い環境を支えます。世界ミツバチの日に、話題を広めるのを手伝ってください。』